「子ども手当」の廃止を求める請願

請願の目的　**～子供たちの将来のために**

財源が示されていないばかりか、税収上不可能と思われる金額のバラマキ、戦後最大の赤字国債の発行の一因となった。これは日本の子供たちの将来の足かせとも言うべき借金であり、同時に各種控除の廃止によって家計は大打撃を受けると予想されるため。

国家財政上の問題　**～赤字国債が税収を上回る異常事態**

民主党政権が作った「子ども手当」を含む予算は、赤字国債が税収を上回るという戦後最悪の予算規模となった。世界経済危機に対応するため財政出動した際の予算より、更に大きくなっている。支給時期からも選挙対策の「バラマキ」ではないか、と指摘されている。

不景気もあり税収が40兆円を下回る可能性のある中、約5兆円の予算は異常である。

各種控除廃止の問題　**～増税による生活苦とさらなる不景気の加速**

「子ども手当」の成立に伴い、児童手当を含む各種控除が廃止された。既存の控除は所得制限などで、収入に応じた優遇があった。しかし「子ども手当」では一律支給となっており、一部の高額所得者を除き、多くが増税となってしまう。子供１人では増税、子供がいなければ大増税となる。財源の目処が立たないため、扶養控除・配偶者控除廃止なども議論されている。

景気回復にはならないどころか、デフレ下の大増税、景気のさらなる悪化が懸念。

地方負担された場合の問題　**～地方自治体破綻の危険性**

衆院選前は地方負担ゼロを謳っていたが、政権交代後は自治体への負担も示唆されている。

施行方法によっては、自治体の財政的・人的な負担増となり、破綻も危惧される。

少子化対策・経済面での効果　**～子供達への将来に渡る負担**

外国籍の方に手当てを支給しても、日本の少子化対策にはなっていない。また手当てを国外で消費されれば、当然日本国内への経済効果はない。

それを将来に渡り、日本人たちが、そして将来の子供たちが背負わねばならない。

外国人への支給金額の問題　**～海外への「私たちの」税金の流出**

日本に住民票があれば、国外の外国籍の子供にも支給される。これは児童手当の踏襲であるが問題は金額である。「子ども手当」はあまりに金額が大きく、数名の不正受給、もしくは正規であったとしても「子ども手当」の受給額は、本国の年収を上回る国が多数ある。

受給目的での来日、私たちの税金の海外流出、及び犯罪につながる危険性が懸念される。

バラマキと言われる理由～約一兆円でここまでできる！

- **医療分野での助成**　不妊治療の保険適用、１２歳まで医療費無料化
- **保育サービスの充実**　子供の一時的な病気にも対応できる病児保育所の設置、一時的に困難になったときの「一時預かり保育」を制度化、保育に携わる看護師・栄養士の処遇改善
- **義務教育課程の支援**　小学校給食費の無料化、放課後児童クラブ拡充、副教材費の無料化、公教育の充実
- **高校・大学での支援**　低所得家庭の授業料免除、無利子奨学金の拡充

ここまでやっても一兆三千億！子供達のために、育てる親のために、本当に必要な所に効率の良い予算付けを！

紹介議員一覧

国会法に基づく請願であり、紹介議員が必要となります。

稲田朋美	（福井一区　衆議院議員）	西田昌司	（京都府選挙区　参議院議員）
北村茂男	（石川三区　衆議院議員）	松村よしふみ	（熊本県選挙区　参議院議員）
田中和徳	（神奈川十区　衆議院議員）	中川まさはる	（東京都選挙区　参議院議員）
古屋圭司	（岐阜五区　衆議院議員）	宇都隆史	（全国比例　参議院議員）
柴山昌彦	（埼玉八区　衆議院議員）	山谷えり子	（全国比例　参議院議員）
下村博文	（東京十一区　衆議院議員）	佐藤正久	（全国比例　参議院議員）
甘利明	（神奈川十三区　衆議院議員）	熊谷大	（宮城県選挙区　参議院議員）
岩屋毅	（大分三区　衆議院議員）	岩井茂樹	（静岡県選挙区　参議院議員）
		三原じゅん子	（全国比例　参議院議員）

177国会

請　願　事　項

「子ども手当」は、「子ども」という美名の下にバラマキを行い、将来の子供達に負債を背負わせる悪法である。経済が疲弊し税収が落込み財政出動も期待される中、恒久財源の裏付けもなく、経済効果も疑問である本法案は廃案とすべきである。

①「子ども手当」法案の廃止及び即時支給停止を求める

②廃止した上で、児童手当の復活、各種控除の復旧を求める

③実現可能かつ現実に即した「日本国内に有効な」少子化対策を講じること

④同様に、「日本国内に」効果的な景気対策、財政出動を求める

衆議院議長 殿　参議院議長 殿

氏名	住所

署名簿は自筆・ボールペンで記入してください。未成年・外国籍の方も請願可能です。

請願書送付先

〒862-0954
熊本県熊本市神水1-15-40
木原稔事務所（請願書在中）

※ 署名簿は大切な個人情報です。代表して集めた方・団体は取り扱いに注意してください。また署名簿は目的以外には使用できません。記入済みの署名簿は、「請願書在中」と書き郵送にて送付してください。（お手数ですが切手を貼って投函願います）

※ 追加で請願書が必要な場合は、下記URLよりダウロードできます。進捗報告・詳細説明も兼ねています。その他にも国民の利益を考えた請願を掲示しており、議論・提案も可能です。是非アクセスしてみてください。

SNS-FreeJapan
政治を語る国民の集い
http://sns-freejapan.jp/

子供達の将来に、不要な重みを背負わせないために！
ご賛同いただけるかたの署名をお願い致します。

製作・著作　㈱カウンターカルチャー　㈹小坪慎也
SNS-Free Japan 請願部 企画三課